

【高等学校用】

令和3年度学校評価計画

学校名	佐賀県立佐賀東高等学校
1 前年度 評価結果の概要	「生徒と教職員が元気で明るい学校作りを目指して」という重点目標を掲げ、計画的に教育活動に取り組んだ。新型コロナの影響により、様々な活動が制限されることもあったが、相互尊重の醸成、自己肯定感・有用感を育む指導を続けた結果、一定の評価を得た。「安全に関する資質・能力の育成」については、特に登下校時の交通事故防止対策として、交通ルール遵守とマナーアップを呼びかけ、交通事故ゼロを目指し取り組んでいく。また、新学習指導要領に適切な学習指導のあり方について、研修を重ね継続した取り組みを実施していく。
2 学校教育目標	校訓「使命に生きる」「自主自律を尊ぶ」「明朗清新を喜ぶ」の精神のもと、生きて働く知識・技能の習得や未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力や人間性の涵養を通して未知の作り手に求められる資質・能力の育成を図る。
3 本年度の重点目標	唯一無二の誇り高さ佐賀東高校の教育実践のために ア「時を守り、場を清め、礼を正す」人材育成 イ「この学校でよかった」と思える学校づくり ウ「安心・安全」な、また「部活動の競技力向上」に向けた環境づくり エ「保護者、地域社会」との連携 オ「不易と流行」を意識した学校づくり

4 重点取組内容・成果指標				主な担当者
(1)共通評価項目				
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
●学力の向上	○生徒一人一人に明確な希望進路を持たせ、それぞれの進路実現に向けた取り組み	○進路希望調査における「未定」率が3年生0%、2年生15%未満、1年生20%未満 ○3年生の希望進路実現率90%以上	・各種ガイダンス等を通じて、生徒一人一人の自己理解を深めさせる。 ・模擬試験等を活用して自己の現状と目標との距離を意識させる。	進路指導部
	○基礎学力の定着	○各教科、年間で2回以上公開授業を実施し、授業改善に努める。	・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った指導法を研究し、実践する。	教務部
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○特別指導件数5件以内を目標とする。	・指導カードを通し心の乱れの早期感知を行い必要な心の教育を早期に行う。 ・「いいねカード」の内容を生徒へ伝え他者への思いやりのある学校の雰囲気形成する	生徒指導部
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○組織的な対応によって、いじめの早期発見、早期対応、被害の最小化および再発防止に努め、いじめ重大事案件数ゼロを目指す。	・面談週間を活用し、生徒個人や生徒間の情報収集を図る。ホームルームや生徒会活動、教科指導を通じ、好ましい人間関係等いじめ問題についての適切な指導を行う。 ・いじめに関するアンケートを年2回実施し、対応を協議・遂行する。事案発生時は随時委員会を開催し、迅速に対応し解決を図る。	保健部(教育相談)
	◎佐賀を誇りに思う教育の推進	○佐賀県を題材にした本校演劇部の校内公演を主催する。 ○3年次に調査する「将来佐賀県に残って働きたい」の割合を80%以上にする。	・今年度は「大隈重信」を題材にした本校演劇部の公演を行う。 ・佐賀県教育委員会配布のDVDを活用し、佐賀の良いところを生徒へ伝える。 ・1年次に総合的な探究の時間と協力して、佐賀の良いところについて発表会を行う。	図書・研修部
●健康・体づくり	○望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	○「健康に食事は大切である」と考える生徒95%以上、朝食の喫食率を90%以上を目標とする。	・家庭基礎やフードデザイン、保健の授業で「食事と健康」について考えさせる。 ・食事アンケートの実施 ・保健日より発行	保健部
	○安全に関する資質・能力の育成	○生徒の交通事故ゼロを達成する。	・自転車点検を行い、車両運転者としての安全意識を高めさせる。 ・交通講話を行い危険予知能力を高め交通ルールを遵守する資質を育成する。	生徒指導部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。また、職員朝礼は週3回(月水金)とし、会議等は終了時間を設定するなど業務削減(縮減)を実施する。6ヶ月平均の45h超過者を15人以下にする。	・定時退勤日(月)推進日(金)の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の積極的な推進 ・積極的な業務削減(縮減)の提示	管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
○学校情報の発信、保護者・地域社会との連携	○保護者や外部への積極的な情報発信 ○地域への貢献活動(ボランティア)	○学校行事や生徒会活動、部活動での活躍や魅力を学校便り、学校HPで発信する。保護者との連携を密にし、スクールニュース等で迅速な対応を行う。HPを見たことがある保護者の割合を80%以上にする。 ○本校所在地である北川副校区や佐賀県・佐賀市のイベント情報を収集し、積極的にボランティア活動に参加する。ボランティアへの参加率を90%以上とする	・リアルタイムで報告できるように学校HPを随時更新し、写真やわかりやすいデータを掲載する。 ・佐賀県、佐賀市のイベントや地域行事の最新情報を収集するため、地域に出向き、また、ネットワークを駆使する。	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---